

知的障害者らが
田植えを体験

02
6/16 富岡

富岡市後賀の社会福祉法人「上州水士舎」（金谷富夫理事長）が運営する知的障害者授産施設「セルフ水士舎」は15日、施設前の水田で「手植え田植え会」を開いた。

田植え会には、同法人の施設利用者や職員が参加したほか、地元の有志ら約70人が協力。参加者たちは苗を2、3本ずつ丁寧に植え付けていた。

稲は今後、無農薬で育て、肥料も同法人が飼育しているニワトリの糞を基にした堆肥を少量使うだけ。自然と共生した農業を体験する。

草取り、水加減などの管理は、施設利用者が行

い、稲刈りは10月上旬から中旬ごろ。収穫量は20俵（1俵は60キ）になる見込みで、田植えのメンバーが再び集まって行うという。

【松本時夫】



丁寧に苗を植え付ける参加者